

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工医療科学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴ください。

記

1. 講 師 山本 悦秀 先生(金沢大学 名誉教授)
2. 演 題 癌浸潤様式 4D 型判定の要点とその背景
～4C 型が限りなく 4D 型に近づいてもあくまで 4C 型である～
3. 日 時 2025年11月6日(木)17時00分～19時00分
4. 場 所 7号館 1階 歯学科講義室 1(旧歯学科:第 1 講義室)
5. 要 旨

本年7月 23 日に原田教授から、我々が発表した口腔扁平上皮癌の浸潤様式細分類(通称 YK 分類)に関する別冊照会のメールがあり、さらに翌日、それに関する講義依頼がありました。私は現在 80 歳。2011 年 3 月の定年で研究生活を終えた以上、自らの信条で、研究成果については後世の評価を粛々と受けることにしてきました。しかし、2010 年 1 月発刊の口腔癌取扱い規約(金原出版)の 86~87 頁に掲載された 4C 型、4D 型の組織像が不適切であることについては提唱者の責任として発言が必要と考え、2014 年 1 月の第 32 回日本口腔腫瘍学会(山下徹郎会長)のモーニング・セミナーで発表させていただきました。演題名は「癌浸潤様式 4D 型判定の要点とその背景～4C 型が限りなく 4D 型に近づいてもあくまで 4C である～」でした。その内容を紹介したいと思います。少しでもお役に立てれば幸いです。

顎口腔腫瘍外科学分野 原田 浩之

(連絡先 原田 浩之 hiro-harada.osur@tmd.ac.jp)